

アグルビト通信創刊イベント開催

アグルビト（AGURUBITO）通信創刊イベントが12月12日（土）、愛たい菜で行われました。

アグルビトとは、20から30代の市内の農業者で構成された大洲市青年農業者協議会が運営する生産者と消費者をつなげるメディアのことです。

当会は、これまで小学校での食農教育や親子米作り体験、イベントでの餅つき体験などの活動を通して、消費者との交流や農業の魅力を発信していました。しかし新型コロナウイルスなどの影響を受け、地域住民と直接会う機会が少



なくなりました。農業と消費者の関係が希薄になった現代において、アグルビトによる冊子やSNSを通して、地域の一次産品の生産過程や生産者を消費者が知ることにより、「野菜を買うときに買った人の顔が浮かぶ状態」を創出し、コロナ禍において直接コミュニケーションが取れないなか、アグルビトを通して両者が緩やかにつながりを持つことで隔たりを減らし、より農業の豊かな地域を目指すために、アグルビトを立ち上げました。

イベント当日は、アグルビトのメンバー3人（村上隆志さん、松尾佳治さん、沖野順一さん）が「アグルビト通信創刊号」の配布を行っていました。

会長の村上隆志さんは「どんな生産者がどのように野菜をつくっているのか知るきっかけになってほしい。安心を見える化して、多くの人にどんどん食べてもらえるようにしたい。また、販路を拡大できるようにしたい」と話しました。「若手農業者さんが多くて驚きま



した。野菜を購入する時、つくっている人、育てている人、生産者さんの顔を浮かべたり、私たちが消費者が食ができることはありがたいことで、生産者さんの想いを感じるようになり、農業についてさらに知りたいきっかけとなりました」と話していました。

アグルビトでは今後、SNSを毎週更新し、機関紙は年に2・3回発行する予定です。



Instagram



facebook

【問い合わせ先】

農林水産課 農商工連携係

☎ 24 1727



えひめ憲一さんによる市長表敬訪問が12月14日(月)、市役所で行われました。

えひめ憲一さんは、大洲市の「盆踊り曲」は合併前の4市町村にはあるものの、新市には無かったため、地域おこしのために、「伊予の小京都 大洲」を作成しました。また、災害復興の足掛かりになっ
て欲しいと思い「海・川・山の資源や臥龍山荘、うかいなど、伊予の小京都と呼ばれる輝かしい大洲市をPRしたい」と曲に込めた思いを述べました。

大洲のうたを届けたい

えひめ憲一さん表敬訪問



「伊予の小京都 大洲」の歌詞

大洲訛(なま)りに さそわれて
 サクラ花咲く 天守閣
 臥龍山荘(がりゅうさんそう) 訪ねれば
 ツツジ彩る 富士山(とみすやま)
 昔懐かし 街並みに
 お茶目明るい おはなはん
 ああ 伊予の小京都 大洲

あじさい咲いた ふるさとは
 浪漫八橋(ろまんはつきょう) 清流に
 ホタル飛びかう 花菖蒲(はなしょうぶ)
 おふくろ作った いもたきで
 鶏飼(けい)賑やか 屋形船
 心癒(い)やされ 舌鼓(したづみ)
 ああ 伊予の小京都 大洲

もみじ鮮やか 白滝(しらたき)よ
 肱川(ひでがわ)あらし 赤い橋
 夕日輝く 青島(あおしま)に
 瀬戸(せと)の潮風 予讃線(よさんせん)
 汽笛(きふえ)が響く 長浜(ながはま)で
 幸せ(しあわせ)さがし 夢(ゆめ)さがし
 ああ 伊予の小京都 大洲

- 【プロフィール】
- ▽1979年松山市生まれ
 - ▽父親が大洲市出身で、2歳7カ月で歌の道を志す
 - ▽2012年7月18日、「故郷(ふるさと)がいちばん」、「おいでんか松山へ」で歌手デビュー
 - ▽2019年までに7枚のシングル、2019年5月にファーストアルバムをリリース

2月13日(土)にオズメッセで「あなたのふるさと」in大洲」と題して「まちかどピアノ」を利用したライブを行います。(観覧無料)生配信は左記のQRコードにより視聴可能です(無料)。



大洲城すす払い

大洲城のすす払いが12月11日(金)に行われ、大洲史談会の会員や企業社員の約30人が参加しました。

参加者は、長さ約5メートルのタケの先にササの葉をつけ、台所櫓や高欄櫓の軒下などにたまったほこりやクモの巣などを払い落としました。天守上部は、高所作業車を用いて作業し、敷地内の除草なども念入りに行いました。

大洲城支配人の田苗勉(つとむ)さんは「ほこりだけでなくコロナも払い落とすように気持ちを含めました。今後も感染対策を徹底し、多くのみなさんの来場をお待ちしています」と話しました。



イチゴの季節到来 完熟イチゴをどうぞ

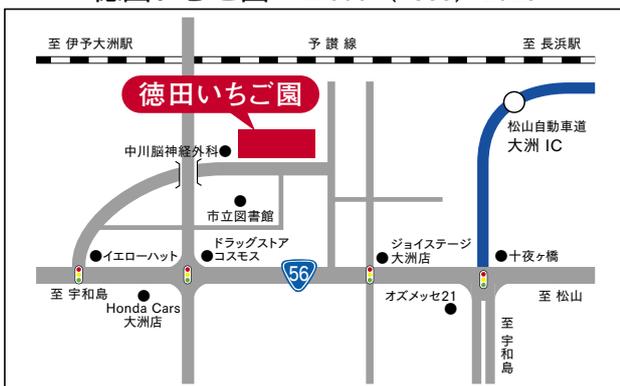
観光いちご園の開園に先立ち、地元保育所児童によるイチゴ狩りが、12月8日(火)に徳田いちご園で、25日(金)に川本いちご園で行われました。

徳田いちご園に招待された東大洲子ども園児約40人は、大きなイチゴを手に持ち「甘くておいしい」と笑顔で食べていました。両いちご園では、「紅ほっぺ」や「紅い掬(あか しづく)」などの品種を栽培していて、児童は数種類のイチゴを食べ比べていました。

徳田いちご園は5月下旬ごろ、川本いちご園は5月上旬ごろまで開園しています。詳しくは、下記まで問い合わせください。



徳田いちご園 ☎090 (4335) 2925



川本いちご園 ☎090 (3784) 0150





図書館法施行70周年記念 図書館関係者文部科学大臣表彰

図書館法施行70周年記念図書館関係者文部科学大臣表彰式が12月10日(木)、大洲市立図書館で行われ、楠崎倭子くさきしづこさんが表彰されました。

これは、図書館法施行70周年を記念し、地域における図書館活動を推進するため、多年にわたり図書館活動の振興に顕著な功績があった人に対し、その功績をたたえ、文部科学省が10周年記念ごとに表

彰を行うものです。本表彰については、図書館法施行30周年(昭和55年)から10周年ごとに実施されていいて、今回で5回目になります。

楠崎さんは「図書館のおかげでたくさんの素晴らしい人、本に出会うことができました。これから図書館、そして大洲市の教育が発展していくことを願っています」と話しました。

豪雨災害を乗り越えて再開 ～「ひじかわレストラン おしどり」がオープン～

「ひじかわレストラン おしどり」が12月16日(水)、「道の駅」清流の里ひじかわ内にオープンしました。「清流の里ひじかわ」は平成30年7月豪雨で浸水し、レストランの運営が休止していました。昨年9月の運営事業者審査委員会で、新たな運営者は大洲市交流促進センター「鹿野川荘」の指定管理者でもある「ひじかわ開発」が担うこととなりました。



レストラン入口



店内の雰囲気

来場していた福森ふみこ文子さんは「オープンの日が待ち遠しく、とても楽しみにしていました。料理がおいしく、これからたくさん利用させていただきます」と話していました。

レストランでは「肱川らーめん」をはじめ「ダムカレー」や大洲産のクリと豚肉を使った井ぶり飯「とんくりまぶし」など多彩なメニューが楽しめます。

豊後交流

愛媛・大分両県の自治体同士でお互いの地域の魅力を紹介し合う取り組みを行っています。豊予海峡を挟んだ海の向こうに目を向けてみましょう。



豊後大野市

1 豊後大野市の概要

豊後大野市は、大分県の南西部、大野川の中・上流域に位置し、人口約3万5千人のまちです。四季を通じておおむね温暖で、一部の山岳地帯を除いては、平坦地の平均気温は15～16℃と極めて農耕に適しており、古くから農業を基幹産業として発展してきました。起伏に富み、複雑な地形をいかし、かつ、大小の河川を集めて別府湾に注ぐ大野川の豊かな水利があるため、大分の野菜畑と言われるほど農業が盛んに行われています。なかでもピーマンは西日本有数の出荷量を誇ります。

畜産業では「第11回全国和牛能力共進会」で種牛の部日本一になるなど力を入れています。

2 豊後大野市の自然

豊後大野市は、九州で唯一「日本ジオパーク」と「ユネスコエコパーク」の両方に登録されるなど豊かな自然を有しています。

豊後大野市の大地は、約9万年前の阿蘇山巨大噴火による火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩で形成されており、溶結凝灰岩は加工しやすいため、磨崖仏やアーチ式石橋などが市内各所にあります。

祖母山は日本百名山に選ばれていて、年間を通じて多くの登山者が訪れます。ブナ林など豊かな原生林が残され、川上溪谷など美しく豊かな水流を育み、春にはアケボノツツジやミツバツツジ、夏には深い緑、秋にはパッチワークのような紅葉、冬は霧氷と四季を通じて登山者に人気があります。



◀原尻の滝

幅120m高さ20mの大瀑布。足元からストンと落ちるように見える珍しい滝で「日本の滝100選」「大分県百景」のひとつにもあげられています。

▶川上溪谷

夏に深い緑に包まれる川上溪谷は、森林浴の森百景にも選ばれています。



◀祖母山

鋭く尖った稜線や岩壁など荒々しい姿を持つ祖母山は、地域の人達の畏敬の念を集めてきました。



国指定重要無形民俗文化財の御嶽神楽。力強く華麗で勇壮な舞が特徴。

3 豊後大野市の伝統

伝統芸能も盛んで、各地で神楽、白熊、獅子舞などが受け継がれています。なかでも宝徳元（1449）年に発祥したと言われる御嶽神楽は平成19年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。そのほか、奇祭とも言われる大わらじを履いたひょうたん様がお神酒を振る舞う「ひょうたん祭り」やふんどし姿の男衆が神輿を担ぎ冬の川を渡る「緒方三社川越しまつり」など、約800年続く祭りもあります。

問い合わせ先 豊後大野市総務課 情報推進室 広報広聴係 ☎0974-22-1001

野鳥



アカマシコ(赤猿子)
スズメ目 アトリ科
全長14cm

冬鳥として稀に日本海沿岸の離島に現れるアトリの仲間です。長年地道な観察をしていると、地元にも飛来していることがわかり、突然の出会いに心ときめきます。日本で観察される個体のほとんどが若鳥か雌の茶色いタイプで、図鑑に載っている赤い雄は、生息地のモンゴルなどに行かないと出合えないそうです。そのため、「茶マシコ」の愛称で呼ぶ人もいます。科学の進歩により人間は地球の隅々まで知り尽くし、宇宙にまで住居を広げようとしています。本来の子孫を残すという本能は野鳥たちも同じで、自分の力で食料を求め、大陸を移動して命を次世代にバトンタッチしています。自然界はアナログの世界ですが、科学が進歩した現在でもわからない事ばかりで、謎めいたところが魅力の一つです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



猿ヶ滝城跡
大洲市指定史跡
個人所有

猿ヶ滝城跡は、鹿野川ダム湖右岸側に位置し、竜王山(約460m)から南西にのびる標高230~290mの尾根上に展開しています。

この城は、西予市城川町にある三滝城(県指定史跡)の支城に位置付けられ、岩本将監がおさめたと伝えられています。天正年間中ごろ(1580年前後)、土佐勢の進攻により、対岸の高尾城などとともに落城したとされ、主郭(城の中核部)には戦死した将監を祀る祠が建てられています。

肱川に向けて突出したような地点に立地していて、川沿いに進攻する敵を強く意識して築かれたと考えられます。狭い尾根に10以上の曲輪が直線状に配され、全長は約600mにも及び、周辺の他の城と比べ大規模であることが特徴です。

(昭和49年3月16日指定)

Information pick up

大洲市臨時特別奨学生募集

新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、進学や修学継続が困難な学生または生徒のみなさんに奨学金を貸与します。

【貸与月額】

▽高等学校・高等専門学校奨学生
1万8千円

▽大学・短期大学・専門学校奨学生
初年度10万円以内
次年度以降3万円

【申請期限】

6月30日(水)まで

【他の奨学金との関係】

日本学生支援機構奨学金、愛媛県奨学金等と合わせて貸与を受けることはできません。

【返還猶予】

現在大洲市奨学金を返還中の人は、返還を猶予するための申請を受け付けます。
詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

教育総務課学校教育係 ☎24-1733

松山東高等学校通信制課程
前期入学生徒募集

松山東高等学校は、通信制課程がある県内唯一の公立高等学校です。令和3年度前期(4月)の入学生徒を募集しますので、詳細については問い合わせ先へご連絡ください。

【入学資格】

▽中学校を卒業している人

▽令和3年3月に中学校を卒業見込みの人または中等教育学校前期課程修了見込みの人

▽中学校卒業程度の学力を有すると認められる人

▽高校、中等教育学校後期課程に在学中または中途退学した人

【出願期間】 必着

▽新入学 2月16日(火)~3月9日(火)

▽編入学 2月16日(火)~3月9日(火)

▽転入学 3月15日(月)~3月19日(金)

【留意事項】

本人以外には、募集要項(入学願書)をお渡しできません。

【問い合わせ先】

松山東高等学校通信制課程 ☎089(945)0131